

幼稚園・学校番号	1509413
施設名(園名等)	上ノ原幼稚園

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

年少3歳児 ことり組 担任(教諭名): 内藤 礼

1. 活動のテーマ

<テーマ> (タイトル)

木育 ①「木のスタンプで遊ぼう」

テーマの設定理由

花や葉、実、種、木など、園内でさまざまな自然の素材に興味を持ち、遊びに取り入れている子どもたちの姿が見られるため、本テーマを設定した。年齢、学年に見合った体験を通して、自然物に触れる面白さ、不思議さを感じることを目的とする。木工工作や花壇づくりを通し、日常的に木や木材に触れ、園生活が自然と調和していく喜びを味わうことを目指す。子どもとともに木のいのちに触れながら園庭環境を創り上げていくことのできる余地や可能性を生かす。

2. 活動スケジュール(活動の流れ)

- ・木育インストラクターによる、木についての話を聞く(種類、性質、年輪について)(9月)
- ・スタンプ用の木材にアクリル絵の具を塗り、年輪を確かめながら模様付けを行う
- ・のこぎり体験として、実際に木を切る
- ・製作した年輪模様の布を遊びや保育室の掲示に取り入れる
- ・クリスマスの製作物として、年輪スタンプを扱う(12月)

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

・活動のために準備した道具、環境の設定>

- ・年輪スタンプ用の木材(年輪をバーナーで炙ったもの)
- ・アクリル絵の具 紙皿 ハケ ビニールシート のこぎり
- ・製作用の布・巾着袋 中敷き用厚紙

・活動中の子どもの姿・声、子ども同士や教諭との関わり 等を記載

- ・木についての話を聞き、「知らなかった～」「自分の家には〇〇の木があるよ」「公園には□□の木があった」など、自分たちの知識や考えを思い思いに口にしていた。
- ・木材を炙ることで、年輪がきれいに模様として浮き出ることを不思議に感じ、実際に絵の具を使って製作をする中で、年輪の数を数えたり、木の形を組み合わせてたりして楽しんでいた。
- ・のこぎりを始めて扱う子どもが多く、緊張しながらも嬉しそうに取り組む姿が見られた。比較的細い木材だったので、簡単に切り落とすことができ、「もう一回やりたい!」と繰り返し楽しむ子どもの姿もあった。
- ・クリスマスのプレゼント製作として、再び年輪スタンプを取り入れ、「この木の形を使ってみたい」「上手に木の模様をつけられた!」等、一人ひとりが自由に木材を使って製作を楽しんでいた。「この黒くなっているところ(炙ったところ)に絵の具を塗るといいんだよね」と、木の性質についても覚えている姿があった。



4. 振り返り

<振り返りによって得た、教諭の気づき>

- ・木材を製作に取り入れることで、実際に木材に触れ、その感触やにおい、重さ、形などを不思議に感じながら楽しんでいる姿が見られた。身近にある自然物に対する関心が高まり、「この木も切ったら模様があるのかな?」などと、年少の子どもなりに考えているきっかけにもなっていた。
- ・保育教材として自然物を取り入れることで、子どもたちが手に取ったり、観察したり、新たな発見につながったりするきっかけを与えることができるとわかった。また、子どもの年齢や発達状況に合わせて、適切な環境を構成することが、安全な活動へとつながっていた。
- ・木育活動を通して、以前よりも木に対して親しみを覚えている姿も増えていたので、今後も積極的に取り入れていきたい。